

あまの 四季彩

網野町の人口(人)			
	R2.7末	R2.8末	前月比
0~14歳	1,203	1,200	-3
15~64歳	6,534	6,532	-2
65歳~	4,839	4,839	0
合計	12,576	12,571	-5

9月13日 『浜詰 夕日の丘』公園オープン!

網野町浜詰の夕日ヶ浦海岸にて「浜詰 夕日の丘」のオープン式典が行われました。今回施設が完成した敷地は、元々「京都府青少年浜詰海の家」として賑わっていましたが、平成10年に施設が閉鎖され、その後は空き地となっていました。そんな中、3年前から浜詰区が中心となり整備計画を進め、新たな公園施設が完成しました。

当日は、京丹後市長をはじめ、たくさんの地元の方が参加され、モニュメントの除幕式を行った後、橘小学校6年生が自作した「ぼくらの夕日ヶ浦」の歌が披露されました。

山松浜詰区長は、「水平線に太陽が沈んでゆく。時代や世の中が変わってもその営みが変わることはない。それが我々に安心や安らぎ、また自然の素晴らしさを感じさせてくれます。そういったことをよりいっそう受け止められる場所になってほしい。」と話します。



目玉情報!

なんといっても注目は、公園北側に設置された『YUHIGAURA』のモニュメントです!夜はライトアップも行われ、日中も夜も家族や友人、恋人同士で“映える”写真を撮って楽しんでください!敷地一体には、「クラピア」という植物が植えられ、夕日ヶ浦の誇る自然の魅力を存分に味わうことができます!

※ライトアップは当面の間、午後6時から10時まで予定しています。
※車でお越しの方は夕日公園駐車場をご利用ください。



NEWでOLDな陶器を創り出す

陶芸家 DAISAKさん



「私の祖母が網野に住んでいたことから、子供のころ、夏はよく海に遊びに来ていて、そのころからこの町は好きでした。また、私の奥さんのおばあさんも久美浜町出身だったこともあって何かと縁があり、結婚を機に引っ越してきました。都会で活動していたころに比べて、ここではゆっくりと作業ができて仕事がやりやすいです。」と話すDAISAKさん。

元々はDAISAKさんのおばあさんが機織りの工場として使われていた場所は、アトリエへと変わり、そこからたくさんの作品が生まれています。

離湖の近くにアトリエを構え、網野町を拠点に活動されている陶芸家のDAISAK(ダイサク)さん。京都市西京区で生まれ育ったDAISAKさんは、京都市内の大学院修了後、比叡山にある「山中Suplex(スープレックス)」というシェアアトリエで活動しておられました。その後、2018年にご家族と一緒に網野町に移住し、作品販売と個展活動を中心に活躍されています。

